

正和設計株式会社

2015 年度 環境活動レポート

事業年度 2015年4月1日～2016年3月31日

(対象期間：2015年4月～2016年3月)



作成日： 2016年8月6日

更新日：

事業内容

建設コンサルタント登録 【 建26第304号 】

- 河川砂防及び海岸
- 上水道及び工業用水道
- 下水道
- 道路
- 鋼構造及びコンクリート
- 都市計画及び地方計画部門
- 土質及び基礎
- トンネル
- 施工計画、施工設備及び積算
- 農業土木

測量業登録 【 第(14)-884号 】

地質調査業登録 【 質24第839号 】

補償コンサルタント登録 【 補26第989号 】

一級建築士事務所 【 (ホ)第1407号 】

有資格者

○ 技術士	13名	○ 技術士補	13名
○ RCCM	32名	○ 土木設計技士	1名
○ 測量士	16名	○ 測量士補	11名
○ 一級土木施工管理技士	20名	○ 二級土木施工管理技士	6名
○ コンクリート技士	2名	○ プレストレストコンクリート技士	1名
○ コンクリート診断士	1名	○ ダム管理技士	1名
○ コンクリート構造診断士	1名	○ 宅地建物取引主任者	2名
○ 一級建築士	1名	○ 二級建築士	1名
○ 地質調査技士	3名	○ 道路防災点検	4名
○ 補償業務管理士	3名	○ 橋梁点検技術研修	1名
○ 地籍主任調査員	2名	○ 高所作業者運転	2名
○ APECエンジニア	1名	○ 小型船舶操縦士	4名
○ 下水道第二種	4名		
○ 土地区画整理士	1名		
○ 騒音・振動関係公害防止管理者	2名		
○ 一級造園施工管理技士	2名		

主な受注先

国土交通省 □
NEXCO（西日本、中日本、東日本） □
水資源機構 □
日本中央競馬会 □
JRAファシリティーズ(株) □
滋賀県 兵庫県 大阪府 京都府 奈良県
近畿圏各市町村 他（順不同、敬称略）

所属団体

建設コンサルタンツ協会
日本測量協会
日本補償コンサルタント協会
全国地質調査業協会連合会
全国測量業団体連合会
土木学会
日本道路協会
日本下水道協会
地盤工学会
日本技術士会
日本国土調査測量協会
関西地質調査業協会
滋賀県測量設計技術協会
滋賀県建設コンサルタント協会 他
日本補償コン復興支援協会他

正和設計株式会社

環境方針

当社は、風光明媚な滋賀県の大津市を本拠にして、河川や湖沼の自然環境の保全に関すること、水環境に資する上下水道に関すること、橋梁や多種多様の構造物を含めた道路を中心とする生活環境整備に関すること等の設計、測量、地質土質調査、補償業務を行っております。

近年ますます深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の最重要課題との認識に立ち、建設総合コンサルタント会社として、人にやさしく、地球にやさしい社会の実現を目指すことにより、環境負荷の低減を図るため、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

- 1 . 地球温暖化防止のため、電力使用量削減、ガソリン使用量削減により二酸化炭素の削減に取り組めます。
- 2 . 資源の有効利用のため、廃棄物を分別し、＊ 3 Rの推進により廃棄物削減及び、コピー紙の使用量削減に取り組めます。
- 3 . 水資源の有効利用のため、節水に取り組めます。
- 4 . 循環型社会推進のため、グリーン購入やグリーン調達を推進します。
- 5 . 地球環境保全のため、環境配慮設計の提案を推進します。

上記について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- 6 . 社会貢献活動として道路の植栽管理や清掃をボランティアで行う『近江の美知普請』〔美知メセナ〕に参加し、道路清掃活動を行います。
- 7 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 8 . 環境方針を全社員に周知徹底し、社外に活動内容を公表します。

＊ 3 R : Reduce (発生抑制) 、Reuse (再使用) 、Recycle (再資源化)

制定日 : 2010年4月1日

改定日 :

正和設計株式会社

代表取締役 田中 英幸

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

正和設計株式会社
代表取締役 田中 英幸

(2) 所在地

本社	〒520-0806	滋賀県大津市打出浜3番7号
大阪支店	〒532-0011	大阪市淀川区西中島7丁目1番3号
神戸支店	〒650-0013	兵庫県神戸市中央区花隈町33番15号
三重支店	〒518-0025	三重県伊賀市西高倉4701番地
東京営業所	〒206-0031	東京都多摩市豊ヶ丘4丁目1番地4-201
京都営業所	〒616-8147	京都府京都市右京区太秦土本町11番地62
南丹営業所	〒622-0024	京都府南丹市園部町千妻東前20番地
奈良営業所	〒630-8015	奈良県奈良市四条大路南町23番20号
福井営業所	〒918-8025	福井県福井市江守中町7番208号
敦賀営業所	〒914-0125	福井県敦賀市若葉町1丁目127
松阪営業所	〒515-0005	三重県松阪市鎌田町403番9号
北海道営業所	〒060-0005	北海道札幌市中央区北5条西10丁目5番1号
東北営業所	〒980-0022	宮城県仙台市青葉区五橋二丁目11番1号
守山営業所	〒524-0043	滋賀県守山市二町町127番地3
湖西営業所	〒520-1655	滋賀県高島市今津町日置前197番地
東近江営業所	〒527-0143	滋賀県東近江市百済寺本町1757番地
甲賀営業所	〒520-3421	滋賀県甲賀市甲賀町上野595番地
長浜営業所	〒526-0831	滋賀県長浜市宮司町709番地7号
大阪設計室	〒532-0011	大阪市淀川区西中島7丁目1番3号
伏見営業所	〒613-0911	京都府京都市伏見区淀木津町603-4

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理責任者	常勤監査役 辻上 武彦	TEL:077-522-3124
担当者	常勤監査役 辻上 武彦	TEL:077-522-3124

(4) 事業内容

測量調査・補償調査・地質調査・環境アセスメント及び土木設計
国土交通省近畿地方整備局登録 測量業者 登録第(14)-884号
建設コンサルタント 建26第304号
地質調査業者 質24第839号
補償コンサルタント 補26第989号
滋賀県知事登録 一級建築士事務所 (木)第1407号

(5) 事業の規模

工事完成高 7億0931万円

	本社	大阪支店	神戸支店	合計
従業員	51名	7名	4名	62名
延べ床面積	1157m ²	93m ²	33m ²	1283m ²

(6) 事業年度

4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 正和設計株式会社

対象事業所:

	本社
	大阪支店
//	神戸支店
//	三重支店
//	東京営業所
//	京都営業所
//	奈良営業所
//	守山営業所
//	湖西営業所
//	東近江営業所
//	甲賀営業所
//	南丹営業所
//	福井営業所
//	敦賀営業所
//	松阪営業所
//	北海道営業所
//	東北営業所
//	長浜営業所
//	大阪設計室
//	伏見営業所

活動: 測量調査・補償調査・地質調査・環境アセスメント・土木設計・施工管理

□ 当社の設計物件

業務名: 安曇川町農村整備事業／集落排水整備
所在地: 滋賀県高島市安曇川町上小川地区
施工者: 安曇川町農村整備課

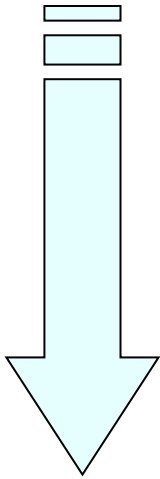
- 環境配慮： 当該水路は、現況水路の老朽化、河床の泥土化による生態系環境の悪化及び除草作業の省力化をコンセプトとする環境に配慮した設計を行った。
- 水路の老朽化と泥土化による生態系環境の悪化は、水路壁に魚巣ブロック等の取付により魚類や底生動物の生息空間や洪水時の避難場所の確保及び河床に礫の敷設により生態系への改善を図った。
- また、近年の除草作業者の高齢化に伴う除草の省力化を目的に、土砂露出部をコンクリートによる保護工とした。



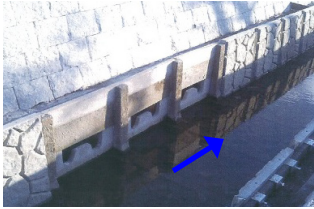
水路整備前／除草困難・生態系環境悪化



現況水路／老朽化／河床泥土化



化粧パネル取付／河床礫敷設



魚巣ブロック取付



魚巣ブロック製品



水路整備後／除草作業省略・生態系改善



水路整備後／管理用階段・維持管理向上

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2009年度 (基準年度)	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素総排出量 二酸化炭素排出係数 0.523	kg・CO ₂	106,378	108,045	85,150	79,956
廃棄物排出量	トン	8.0	3.4	3.7	22.1
一般廃棄物量排出量	トン	3.9	2.1	2.1	2.5
産業廃棄物排出量	トン	4.0	1.3	1.6	19.6
総排水量	m ³	304	291	264	289

□環境目標及びその実績

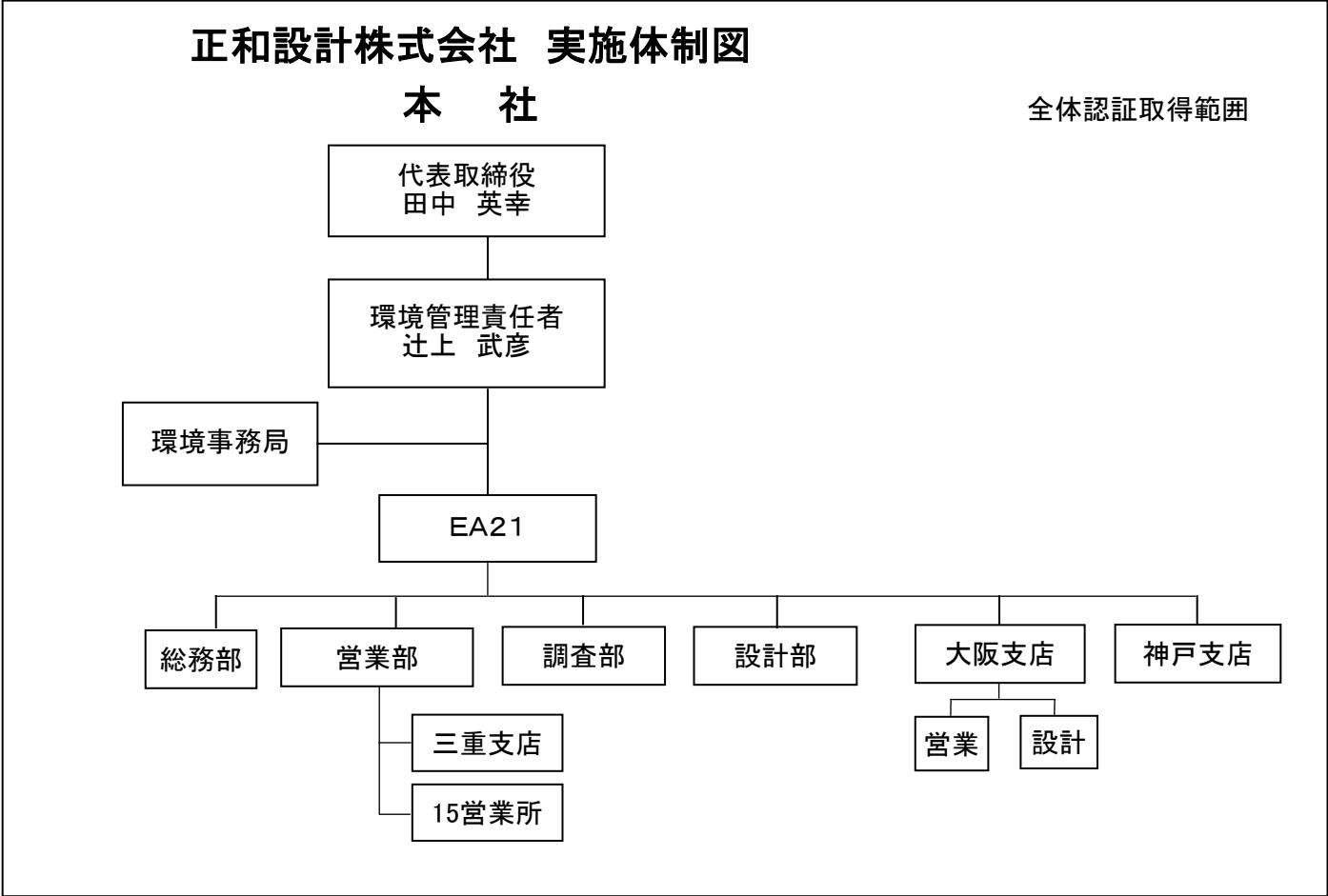
年 度 項 目		基準年度 2009年度 (一部2014 年度＊)	2015年度		2016年度	2017年度
			(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出 量削減 排出係数0.523	kg-CO2 基準年度比	78,806	74,078 94.0%	46,035 58.4%	73,290 93.0%	72,502 92.0%
ガソリンの二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 基準年度比	51,007	47,946 94.0%	33,844 66.4%	47,436 93.0%	46,926 92.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	129,813	122,024	79,879	120,726	119,428
一般廃棄物の削減	kg 基準年度比	4,042	3,799 94.0%	2,454 60.7%	3,759 93.0%	3,719 92.0%
節水	m ³ 基準年度比	304	286 94.1%	289 95.1%	283 93.1%	280 92.1%
コピー使用料金削減	円 基準年度比	5,508,084	5,177,599 94.0%	5,453,328 99.0%	5,122,518 93.0%	5,067,437 92.0%
グリーン購入	% 基準年度比	87.0%	95.5% 104.0%	95.0% 109.2%	96.0% 110.3%	96.5% 110.9%
環境配慮設計	件 基準年度比		4	4	5	5

＊大阪支店の仕事量増加に伴い電気使用量、一般廃棄物、コピー使用料金の基準年を2014年度に変更した。

上記には2015年度の都市ガス37Nm3 77（kg-CO2）は含まれておりません。

産業廃棄物は年末大掃除の混合廃棄物である為マニフェスト管理を徹底しています。

□ 組織図



□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評 価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減	○	
・ 冷房温度 2 8℃設定とクールビズ運動	◎	2013年、2014年に1階、3階をＬＥＤに変更した。その効果が出ている。今年の6月2階測量3台、1階2台の空調機を設備更新した。2015年11月にエアコン4台設備更新した。これらの効果が現れている。 設備更新も別棟のＬＥＤを残すのみとなっており、ハード面では一段落して、今後はソフト面で、エアコンのスイッチを朝は３０分遅く、帰りは３０分早く切る等ソフト面での注意喚起をして行きます。
・ 昼休みなどは消灯を励行する。	◎	
・ 空調機のフィルターは年2回清掃する。	○	
・ 長時間使用しないパソコン・端末機は電源を切る。	○	
・ 退社時、終了時には、パソコン・端末機の電源のオフを確認する	○	
・ コピー機、パソコン、エアコンを省エネタイプに更新	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	○	社用車を7台燃費の良い車に更新したことが功を奏し、自動車燃料使用量が削減できた。今後もエコ運転を推進して行きます。 今後も長期的視点で燃費の良い車種に更新する。
・ 長時間、駐停車時のアイドリングストップ	△	
・ 急加速・急停車の防止	○	
・ 車内冷暖房の控え目使用	○	
・ 不必要な荷物は積まない	○	
・ 低燃費車の導入		
一般廃棄物の削減	○	情報セキュリティの認証取得により、機密書類はリサイクルに回るものが多く一般廃棄物は減少した。今後ともリサイクルを更に推進し廃棄物削減をして行きます。
・ ミスコピーの防止	○	
・ 分別による古紙のリサイクル化	◎	
・ 帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・ コピー使用料金削減	×	成果品の電子納品も進んでいるが、受注先の指示によるものである。コピー使用量を減らすためにコピー機のそばに「3つのRで、ゴミの減量にご協力下さい」を添付して無駄なコピーの使用枚数を減らすことに努めている。この為コピー紙の管理を枚数ではなく社員にわかりやすいように金額で表示した。 2015年度は大阪支店で業務量が増加しコピー量が昨年比1.5倍になり目標達成できなかった。次年度も３Rの推進をして、コピー削減に努めます。
・ 回覧で済むものは人数分コピーしない	○	
・ スタートボタンの前に倍率、用紙サイズ、枚数、濃度等を点検する	○	
・ 縮小コピー（2UP）を利用する。	△	
・ 両面印刷を利用する	◎	
・ コピー終了後にリセットボタンを押す	○	
節水	×	環境に配慮して、本社西側の花壇を整備し、ガザニア、ツツジ、シュガーパインを植えた。又プランタにはひまわりと、大和撫子も植えて、地球環境、地域環境、職場環境にも優しい企業としてPRできた。但しこの水やりに少し目標をオーバーした。今後大幅に水の使用料が増加するようであれば目標設定を見直しします。 今後は節水コマや、自動水止栓の設置など検討して行きます。
・ 水漏れを起こさない	△	
・ 水は出しっ放しにはしない	○	
・ 止水状況が悪いとき早めにパッキングを取り替え	○	
・ 水の使用には節水を心がける	○	
グリーン購入	×	庶務で必要なものを購入する際エコ商品を優先して購入している。業務に関するものでグリーン購入出来ないものがあつた。 今後もエコ商品を優先して購入する。
・ 購入リストのエコマーク商品から購入	○	
・ 今期は実績の調査と現状の把握	○	
製品への環境配慮	○	東京外環自動車道で交通事故発生時油が川へ流れない設計。上野エコセンターの油水分離槽設計、里山整備、生態系を維持した河川改修など4件を受注した。今後も環境配慮設計を推進して行きます。
・ 設計に環境配慮の意識向上	○	
・ 新技術、新工法の活用	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

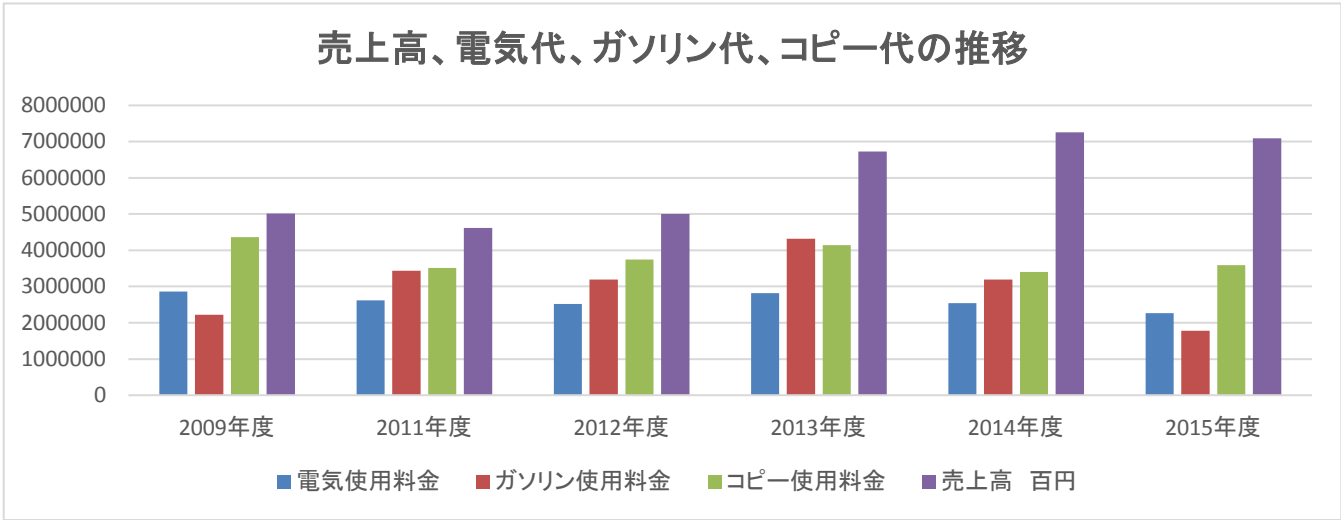
適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
自動車No x ・PM法	大阪府車種規制適合車標章添付	○
フロン排出抑制法	業務用空調機廃棄時フロン類の適切な処理 簡易点検	○
消防法		○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟、関係当局などからの指摘等も過去３年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し
エコアクション21を構築して6年が経過しました。過去6年間のエネルギー使用料推移は下記の通りです。

		2009年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2009年比導入の効果	比率
電力使用量	KWh	134,698	115,348	115,054	110,402	87,711	72,483	(62,215)	-46%
電気使用料金	円	2,862,634	2,621,992	2,517,936	2,814,408	2,546,335	2,264,111	(598,523)	-20.9%
ガソリン使用料金	円	2,222,633	3,438,878	3,196,428	4,314,860	3,190,620	1,776,137	(446,496)	-20.1%
コピー使用料金	円	4,368,438	3,516,321	3,745,624	4,136,855	3,399,441	3,590,485	(777,953)	-17.8%
売上高	百円	5,016,860	4,613,410	5,008,440	6,725,360	7,261,610	7,093,100	2,076,240	41.4%

2015年度は2009年度比電力使用kWhでは46%減、電気料金では21%減である。
EA21を導入せずに何も活動していなかった場合は電気使用料が4,207,486円となり、EA21活動により1,943,375円得したことになる。

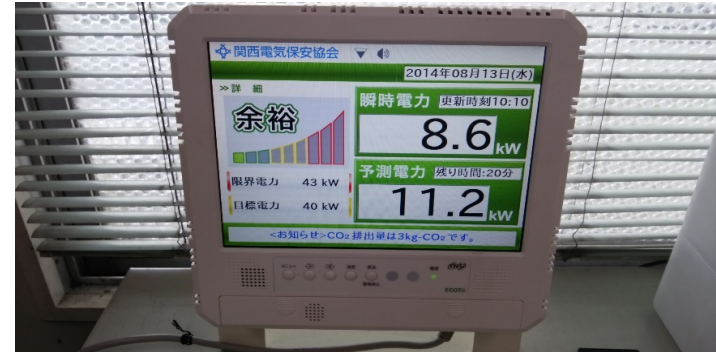


- 今まで実施してきたこと
- 電力使用量関係
- ①2011年8月には1階営業室が吹き抜けになっていたのを間仕切りし、エネルギーの逃げるのを防いだ。
 - ②2012年4月に自動販売機を省エネ型に更新した。
 - ③2013年4月にデマンド監視装置を設置した。
 - ④2013年9月には1階営業室3階設計室の蛍光灯164本をLEDに交換した。
 - ⑤2014年12月には2階測量、地質調査室を146本をLEDに変換した。
 - ⑥2014年6月に会長室、サーバー室、3階奥の3台空調機設備更新した。
 - ⑦2015年1月3階設計室の空調機4台を設備更新した。
 - ⑧2015年6月2階測量室3台、1階2台の計5台の空調機設備更新した。
 - ⑨2015年11月別棟のエアコン4台設備更新した。
- ガソリン使用量関係
- ①2012年7月、2012年8月、2013年7月、2014年2月、2014年3月、2014年8月、2014年10月に社用車を新車に更新した。計7台
- 今後も計画的に設備更新をして二酸化炭素削減に取り組んでいきます。

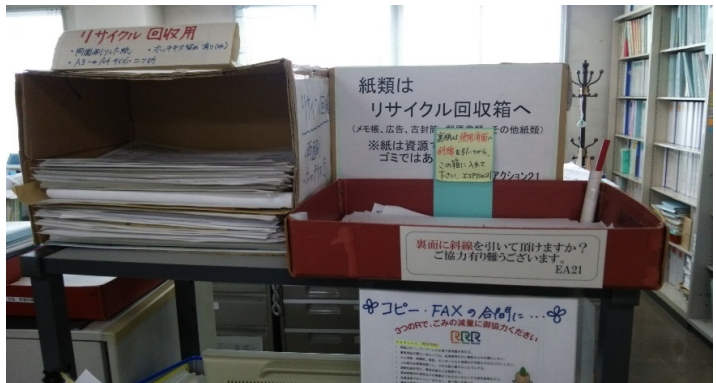
		2014年度	2015年度	差額	対前年比
電気使用量	kWh	87,711	72,483	-15,228	-17.4%
電気使用料金	円	2,546,335	2,264,111	-282,224	-11.1%
ガソリン使用量	リットル	18,753	13,428	-5,325	-28.4%
ガソリン使用料金	円	3,190,620	1,776,137	-1,414,483	-44.3%
コピー使用料金	円	3,399,441	3,590,485	191,044	5.6%

総括
エコアクション21を導入してから6年が経過しました。この間エネルギーの漏れるのを防ぐ為に間仕切りをしたり、デマンド監視装置を入れたり、設備更新としてLED化をしたりエアコンを計画的に更新したりして来ました。その結果基準年の2009年度比電力使用量は46%削減、電気使用料代金は21%削減できております。
これは年4回全社員による全体会議において目標達成状況を報告し、環境意識の向上を図ってきた成果です。
今後はハード面では別棟のLED化を残すのみとなっており、ソフト面で早帰り運動の実施、エアコンのスイッチを朝は30分遅く、帰りは30分早く切る等ソフト面での注意喚起をして行きます。
環境に配慮して、本社西側の花壇を整備し、ガザニア、ツツジ、シュガーパインを植えた。又プランタにはひまわりと、大和撫子も植えて、地球環境、地域環境、職場環境にも優しい企業としてPRできた。

環境活動の紹介
デマンド値監視装置



リサイクル



美知メセナ風景



美知メセナ風景



LED



ゴミの分別



美知メセナ風景



美知メセナ風景

